

## 評価調書

会社 A社

評価実施日 2006/8/23

評価場所 倉庫

評価対象 収入サイクル（在庫管理システム）

作成日 2006/8/23

作成者 甲 太郎

査閲日 2006/8/23

査閲者 乙 次郎

調書 No. 101-1

評価項目	評価資料	評価方法	評価結果	検出事項	その影響	備考
出荷実績入力 (出荷処理)	出荷チェックリスト	(記録の通査) 7月10日付けの出荷チェックリスト及び未出荷チェックリストを1日分全件を通査し、入力完了のチェックマークが付されていることを確かめた。	OK	なし	なし	
評価人メモ						

## 評価調書

会社 A社

評価実施日 2006/8/23

評価場所 倉庫

評価対象 収入サイクル（在庫管理システム）（販売管理システム）

作成日 2006/8/23

作成者 甲 太郎

査閲日 2006/8/23

査閲者 乙 次郎

調書 No. 101-4

評価項目	評価資料	評価方法（統制評価 手続）	評価結果	検出事項	その影響	備考
出荷指示 （出荷処理）	端末からの入力 画面	（再実施） 出荷画面から出荷指 図は入力できないこ とを確認した。	OK。	なし。	なし	
受注入力 （受注処理）	緊急出荷リスト	（記録の突合） 7月の緊急出荷リス トから25件をサン プルとし、緊急出荷 指示書のFAXと突 合した。	緊急出荷指示書の FAXが保管されてい ないケースがあり、ル ールが遵守されていな い運用が行われてい る。	緊急出荷25件の 内3件について、 FAXが保管され ていない。原因 は、は電話での連 絡のみだった、と のことである。	正規の承認の 無い、緊急出荷 が入力される 不備がある	事業部でのFAXに よる注文書からの 受注入力と同じ処 理であり、本来、 受注業務の評価に 該当する。
評価人メモ	緊急出荷に関する倉庫からの受注入力の運用について、事業部、倉庫とも、改善を実施すること 管理状況が改善されたことを確認するため、後日、再度のテストを実施する。					

## 評価調書

会社 A社

評価実施日 2006/8/23

評価場所 倉庫

評価対象 収入サイクル（在庫管理システム）

作成日 2006/8/23

作成者 甲 太郎

査閲日 2006/8/23

査閲者 乙 次郎

調書 No. 101-5

評価項目	評価資料	評価方法（統制評価手続）	評価結果	検出事項	その影響	備考
出荷実績入力 （出荷処理）	配送先別出荷 チェックリスト	（記録の検証） 7月分につき、異常出荷報告書の有無を確認した上で、7月分として回収された配送先別出荷チェックリストの全件につき通査し、追加訂正の記入などの異常の有無、運送会社担当者の押印を確認した。	OK 配送先別出荷チェックリストが全て回収され、異状点が無いことが確認された。	なし	なし	
評価人メモ	整備状況の評価を実施した際に、「ピッキング担当者が配送先別出荷チェックリストを回収して保管しているだけで、回収の網羅性の確認と、手書きによる追加訂正の記入などの異常の有無、運送会社担当者の押印の有無の確認を実施していないこと」を把握したため、こうしたチェックの実施と、異常や回収されない配送先別出荷チェックリストがあった場合には、オペレーターに異常出荷報告書を提出するよう改善を求め、改善後の7月分を対象として運用状況の評価を実施したものである。					

## 評価調書

会社 A社

評価実施日 2006/8/23

評価場所 経理部

評価対象 収入サイクル（販売管理システム）

作成日 2006/8/23

作成者 甲 太郎

査閲日 2006/8/23

査閲者 乙 次郎

調書 No. 101-6

評価項目	評価資料	評価方法（統制評価手続）	評価結果	検出事項	その影響	備考
売上計上	部門別得意先別売上リスト（月次）  会計上の売上データ（仕訳明細表）	（記録の突合） 4月から7月までの4か月分の部門別得意先別売上リスト（月次）の合計と会計上の売上データには、経理部長の確認印が押印されていた。	OK 販売管理システムの売上高月次合計額と会計システムの月次売上高の金額が一致していることを、経理が確認している。	6月と7月の売上計上つき、一部手書きの修正が記入されていた。倉庫担当者に原因を質問したところ、「当初、受注時には6月30日出荷予定だったが、得意先の都合により7月1日出荷となり、本来は6月30日出荷指示を取り消して7月1日出荷とすべきであったが、すでに現場でピッキングがすんでおり、倉庫にもどすのが面倒だったので訂正処理を怠ったものである。6月末の棚卸で未出荷が判明したが、すでに訂正入力できなかったため、出力された帳票を手で訂正した」とのことであった。	「出荷完了を確認して出荷確認入力を行う」という統制の不備に該当する。	会計システムでは、販売管理システムから取り込んだ仕訳データにつき、訂正入力ができる。
評価人メモ	運用の改善を求め、期末までに再度、運用の評価を行う。 期末までに、月末の实地棚卸の立会も再実施し、未出荷の確認手続の評価を行う。					

## 評価調書

会社 A社

評価実施日 2006/8/23

評価場所 事業部

評価対象 収入サイクル（販売管理システム）

作成日 2006/8/23

作成者 甲 太郎

査閲日 2006/8/23

査閲者 乙 次郎

調書 No. 800-1

評価項目	評価資料	評価方法（統制評価手続）	評価結果	検出事項	その影響	備考
受注入力 （受注処理）	アクセス権 限の設定	（再実施） 事業部の担当者の端末で、 ダミーの ID、パスワード では入力画面が開けない ことを確認した。	OK 権限を有する者の ID、パス ワードでしか入力が行えな いことを確かめた。	なし	なし	
受注入力 （受注処理）		（視察・質問） 事業部に往査して、視察と 担当者への質問により、 ID、パスワードの管理状況 を確かめた。	受注処理に関する権限を有 する ID、パスワードが事業 部の全員に知られているた め、職務の分離がなされてい ない。 誰が受注処理を実施したの かを把握できない。	全員が業務の代替 ができるように、 全員の ID とパス ワードが紙に書い て掲示されている ことを把握した。	担当者による運用 に不備があり、不 正な入力が行なわ れる可能性がある。	
評価人メモ	運用に関する不備を改善するように指示し、再度、運用の評価を実施する。 運用の評価の再実施前に、今回の ID、パスワードが変更されていることを確認すること					